

警 防 業 務 の 実 施 状 況

平成28年中、火災は34件発生しており、前年の21件より13件増加しています。

火災種別では、その他火災（16件）が最も多く発生しており、次いで建物火災（12件）、車両火災（4件）、林野火災（2件）の順となっています。

火災による損害額は58,226千円で、火災件数の増加に伴い昨年よりも37,211千円多くなっています。

火災による死者は今年も発生していませんが、負傷者が1名発生しています。

町別の火災発生件数は、印南町が8件で最も多く、次いで日高町と由良町が7件、みなべ町が6件、日高川町が4件、美浜町が2件の順となっています。

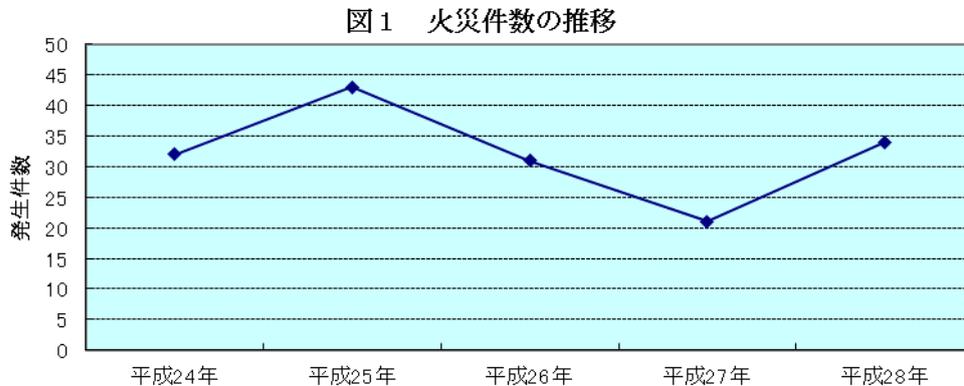
また、火災に準ずる災害（その他災害等）は、358件で昨年より75件増加しています。出動種別では、救急支援出動が313件と全体の約87%を占めています。

1 火災の概要(第1表～第10表)

(1) 火災件数の増減 (第1表)

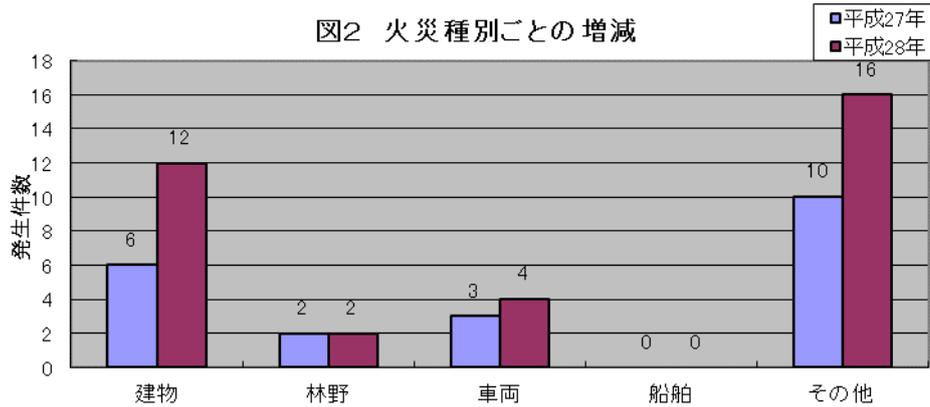
平成28年中の火災件数は34件で、前年に比べ13件の増加となっています。

(図1)



これを火災種別で見ると、建物火災が12件（6件増加）、車両火災が4件（1件増加）、その他火災が16件（6件増加）、林野火災が2件（増減なし）となっています。

(図2)

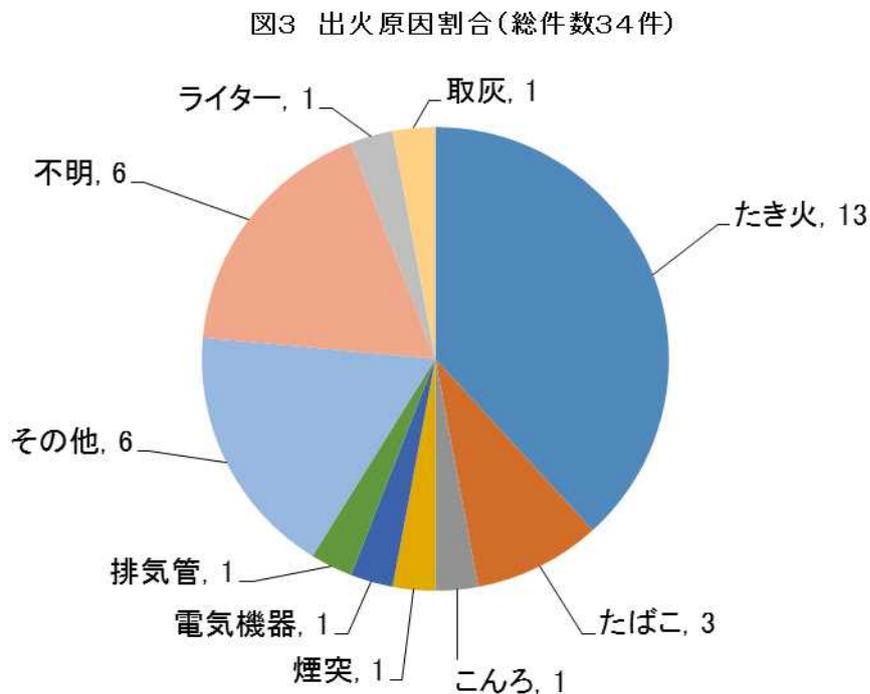


建物焼損棟数は16棟で、前年（8棟）に比べ8棟増加していることから、建物火災による損害額は57,278千円と前年に比べ36,556千円の大幅な増加となっています。

人的被害は、昨年死傷者が発生していませんが、今年は消火しようとした応急消火義務者1名が負傷しています。

(2) 出火原因（第2表）

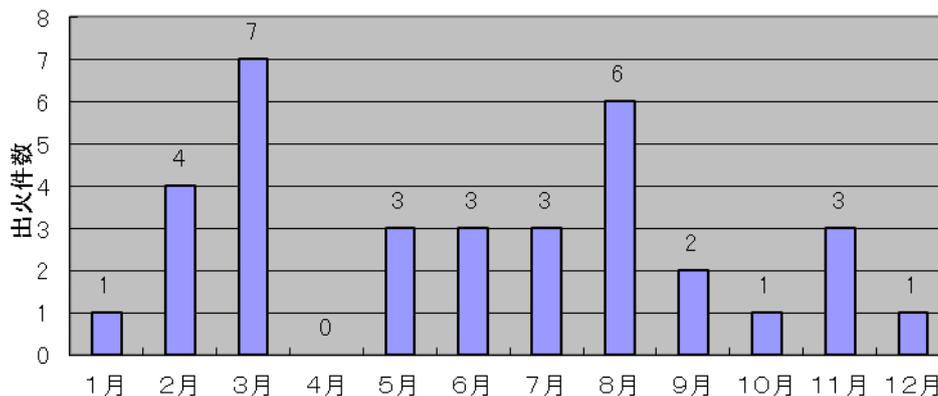
出火原因は「たき火」が13件と最も多く4割近くを占めています。次いで「その他」・「不明」が6件、「たばこ」が3件、「こんろ」・「煙突」・「排気管」・「電気機器」・「ライター」・「取灰」が各1件となっています。（図3）



(3) 月別の出火件数 (第3表)

火災件数を月別にみると、3月が7件と最も多く発生し、次いで8月が6件、2月が4件、5月・6月・7月・11月が各3件、9月が2件、1月・10月・12月が各1件で、4月のみ火災が発生していません。(図4)

図4 月別出火件数(総件数34件)



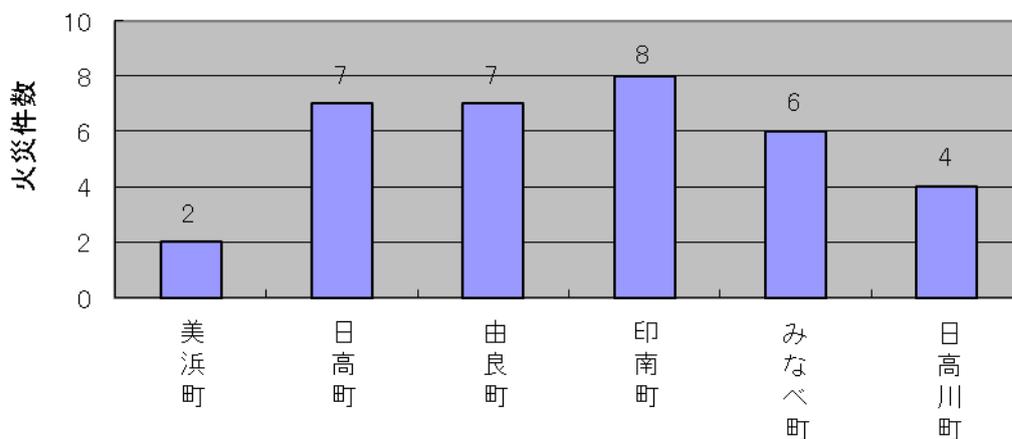
(4) 町別火災件数 (第4表・第5表)

火災件数を町別にみると、印南町が8件と最も多く発生し、次いで日高町と由良町の7件、みなべ町の6件、日高川町の4件、美浜町の2件となっています。(図5)

出火率(人口1万人当たりの火災件数)でみると、由良町の11.3が最も高く、次いで印南町の9.3、日高町の8.8となっています。

なお、管内全体の出火率は6.3で、平成27年中の全国の出火率(3.1)、和歌山県の出火率(2.9)の2倍以上となっています。

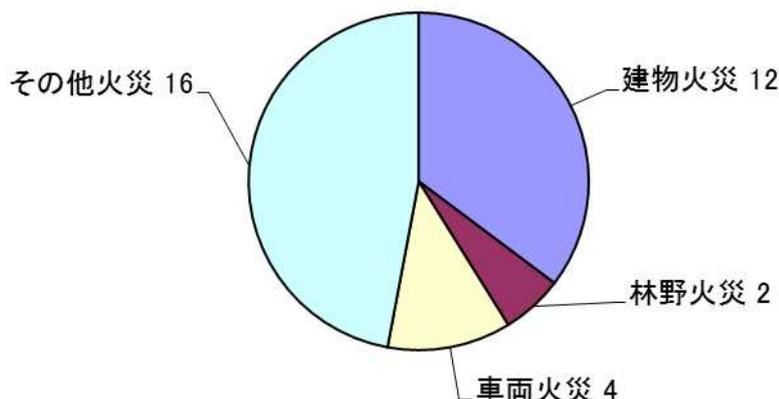
図5 町村別火災件数(総件数34件)



(5) 火災種別の割合 (第6表)

火災種別の割合についてみると、その他火災が16件(47.1%)で最も多く、次いで建物火災が12件(35.3%)、車両火災が4件(11.8%)、林野火災が2件(5.9%)となっています。(図6)

図6 火災種別の割合(総件数34件)



(6) 季節別火災件数 (第7表)

火災件数を四季別でみると、夏期が12件(35.3%)と最も多く、次いで春期が10件(29.4%)、秋期と冬期が6件(各17.6%)の順となっており春期から夏期にかけての火災発生が6割以上を占めています。

この現象は、去年の発生状況と相反しています。

(7) 時間帯別火災発生件数 (第8表)

火災件数を時間帯別にみると、昼の13時から14時、15時から16時の時間帯が5件と最も多く、次いで夕方の16時から17時の時間帯が4件、朝9時から10時、10時から11時の時間帯が3件、夜中の1時から2時、昼の12時から13時、14時から15時、19時から20時の時間帯に各2件発生しており、4時、7時、11時、17時、20時、23時台の時間帯に各1件火災が発生しています。

(8) 天候別火災発生件数 (第9表)

火災件数を天候別にみると、晴れた日に24件、雨の日に3件、曇りの日に7件発生しており、晴れた日の発生が全体の71%を占めています。

(9) 覚知別火災件数 (第10表)

火災件数を覚知別にみると、消防専用電話(119番通報)による通報が25件で全体の74%を占め、そのうち20件が携帯電話による通報となっています。

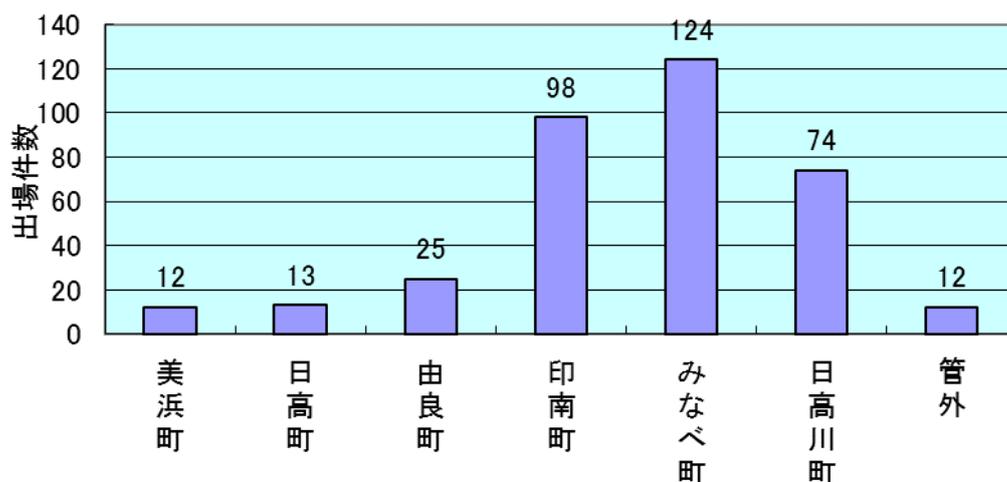
2 火災に準ずる災害の出動件数（第11表）

平成28年中における火災に準ずる災害（その他災害等）の出動件数は358件で、前年と比較して75件の増加となっています。

内訳は、「救急支援」による出動が313件（87.4%）と最も多くなっています。

町別では、みなべ町が124件と最も多く、次いで印南町98件、日高川町の74件となっています。最も少ないのは管外を除けば、美浜町の12件となっています。（図7）

図7 町別その他災害等出動件数(総件数358件)



3 署所別の出動状況（第12表・第13表）

(1) 火災の状況

火災の発生状況を署所別にみると、本署管内が18件（52.9%）と最も多く、次いで印南出張所管内が9件（26.5%）、南部出張所管内が6件（17.6%）、中津出張所管内が1件（2.9%）となっています。

(2) その他災害等の状況

その他災害等の発生状況を署所別にみると、南部出張所管内が126件（35.2%）で最も多く、次いで印南出張所管内が104件（29.1%）、本署管内が65件（18.2%）、中津出張所管内が63件（17.6%）となっています。